

Course number		U-LAS22 10004 SJ48					
Course title (and course title in English)		フランス語 I B (文法) 再履修クラス F1163 Primary French B Re-take class		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,NISHIYAMA NORIYUKI	
Group	Languages		Field(Classification)				
Language of instruction	Japanese		Old group	Group C		Number of credits	2
Hours	30	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters	2024・Intensive, First semester	
Days and periods	Intensive		Target year	2nd year students or above		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
<p>フランス語でコミュニケーションをするのに必要な文法の基礎を学ぶ。 2 フランス語の文法学習を通じて多極的世界観を身につける。 (1)フランス語と日本語・英語との相違点に気づく。(複言語学習) (2)フランス語を話す国民の文化や思考法を知る。(複文化学習)</p>							
[Course objectives]							
<p>1) 文法を身につけ、フランス語を読んで理解できるようにする。 2) 発音と綴り字の関係を学び、フランス語を声にだして読めるようにする。 3) フランス語を話すための基礎力を身につける。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>1 この授業では前年度の後期分を学習します。 2 この授業は完全自律学習型のCALL授業です。履修者は、ネット教材にアクセスして各自が教室外で学習します。教室での授業はありません。 3 開講初日の履修説明会に必ず出席し、3回実施される試験を必ず受けるようにしてください。また毎回の試験実施日までに、試験範囲の確認練習とExerciceを提出する必要があります。</p> <p>開講初日履修説明会 4月10日(水) 18時15分開始 教室 4共11</p> <p style="text-align: right;">試験範囲</p> <p>第 1 回 : 5月 8日(水)18時15分開始 教室 4共11 第 9課~第11課 第 2 回 : 6月 5日(水)18時15分開始 教室 4共11 第12課~第14課 第 3 回 : 7月17日(水)18時15分開始 教室 4共11 第 9課~第18課</p>							
[Course requirements]							
Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".							
[Evaluation methods and policy]							
<p>評価は、3回の試験と確認練習・Exerciceに基づいて行い、第1回の授業で説明します。</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to フランス語 I B (文法) 再履修クラス F1163(2)</div>							

[Textbooks]

大木・西山・グラスイアニ 『改訂版 グラメール・アクティーフ 文法で複言語・複文化 』
(朝日出版社) ISBN:978-4-255-35233-6

(Related URL)

<http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/fr/menu.html>(『グラメール・アクティーフ』)

http://text.asahipress.com/text-web/france/active_call/call_fr/gaf/index.html(『グラメール・アクティーフ』
に準拠する文法確認と確認練習)

[Study outside of class (preparation and review)]

授業では、教科書の他に各自上記のサイトからダウンロードした教材(サブノート形式の補助教材と確認練習解答用紙)を使う。授業時間外にもネット上でも自律学習する。ひとつの課につき教室外でも60分から90分の自律学習をする必要がある。

[Other information (office hours, etc.)]